

# 「志波姫の家 調査実習について」

阿部和建築文化研究所

主幹研究員 安井妙子

一般社団法人宮城県建築士会女性部会 および 阿部和建築文化研究所が コラボレーションして5月20日に執り行う 「志波姫の家調査実習」についてご案内いたします。

志波姫の家は、すでに2回の調査で平面図、屋根伏図、梁伏図を作成しました。今回は、これらの図面を基に、修正や確認を行うとともに、立面図、展開図、断面詳細図を作成できるような調査をします。

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ① 主屋…主屋に付属する新規増築居住部有り | ⑤ 物置 |
| ② 広間…主屋から広間に至る渡り廊下有り  | ⑥ 便所 |
| ③ 長屋門…背後に中古の増築部有り     | ⑦ 馬屋 |
| ④ 土蔵                  |      |



志波姫の家 →

志波姫の家調査報告 1

2023年2月8日



Google

989-5615 宮城県栗原市志波姫沼崎待江

敷地内建物の概要

- 1.長屋門：通路左は板倉で床あり、右は物置。
- 2.主屋：正面に玄関庇がつく。土間部を取り壊して、新規増築部が接続する。奥行き5間。1間は6尺2寸。内法5尺8寸。入母屋造、4方に2段のセガイ梁が出て深い軒を持つ。
- 3.広間：主屋と渡り廊下で接続。二間続き座敷の3方に内縁が回る。上段の間は床棚書院の座敷飾りが整い、次の間にも床を備える。下手背面にトイレが付く。詳細別記
- 4.土蔵：主屋の背後に、正面を南面して建つ。置き屋根。
- 5.他に2室に分かれた物置、浴室棟、3室に分かれた馬屋が各1棟建つ。



志波姫の家 →

東北自動車道 →

新幹線くりこま高原駅 →